

11. もしも、地震が起きたら・・・その震度はどんな揺れ？

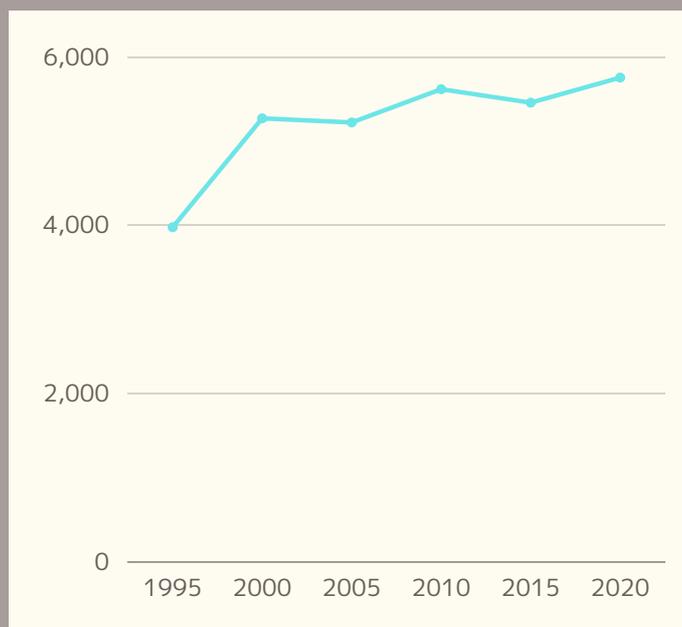
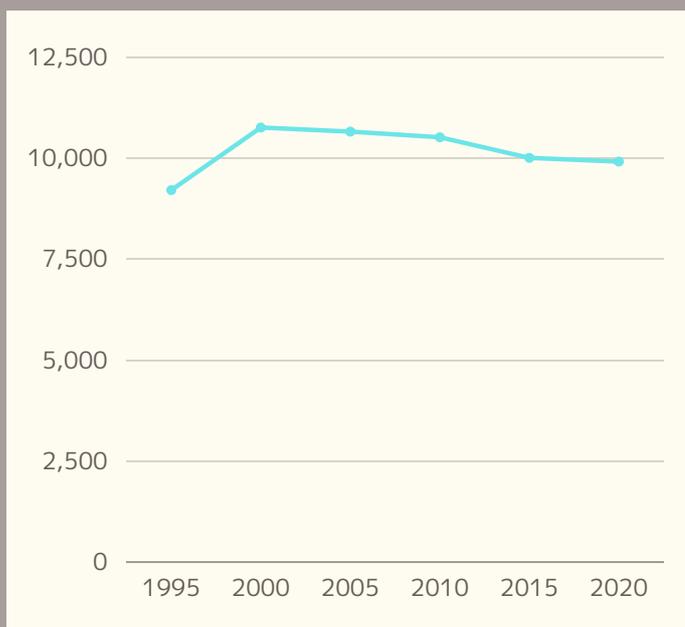
震度と揺れ等の状況（概要）

震度0	<ul style="list-style-type: none">人は揺れを感じない
震度1	<ul style="list-style-type: none">屋内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がいる
震度2	<ul style="list-style-type: none">屋内で静かにしている人の大半が、揺れを感じる
震度3	<ul style="list-style-type: none">屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる
震度4	<ul style="list-style-type: none">ほとんどの人が驚く電灯などのつり下げ物は大きく揺れる座りの悪い置物が、倒れることがある
震度5弱	<ul style="list-style-type: none">大半の人が恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる棚にある食器類や本が落ちることがある固定していない家具が移動することがあり、不安定な物は倒れることがある
震度5強	<ul style="list-style-type: none">物につかまらなないと歩くことが難しい棚にある食器類や本で落ちるものが多くなる固定していない家具が倒れることがある補強されていないブロック塀が崩れることがある
震度6弱	<ul style="list-style-type: none">立っていることが困難になる固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもあるドアが開かなくなることもある壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある
震度6強	<ul style="list-style-type: none">はわないと動くことができない。飛ばされることもある固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが多くなる大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある
震度7	<ul style="list-style-type: none">耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものがさらに多くなる耐震性の高い木造建物でもまれに傾くものがある耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが多くなる

12. 新東三国地域について ー社会特性ー

	1990年 (H22)	1995年 (H27)	2020年 (R2)
人口	10,513人	10,004人	9,911人
世帯数	5,617世帯	5,457世帯	5,755世帯
15歳未満人口比率	3%	7%	8%
75歳以上人口比率	8%	13%	17%
独居比率	52%	52%	56%
昼間人口比率	63%	66%	66%
共同住宅比率	94%	93%	93%
2階以下居住比率	10%	10%	8%

新東三国地域の人口推移と世帯数の推移

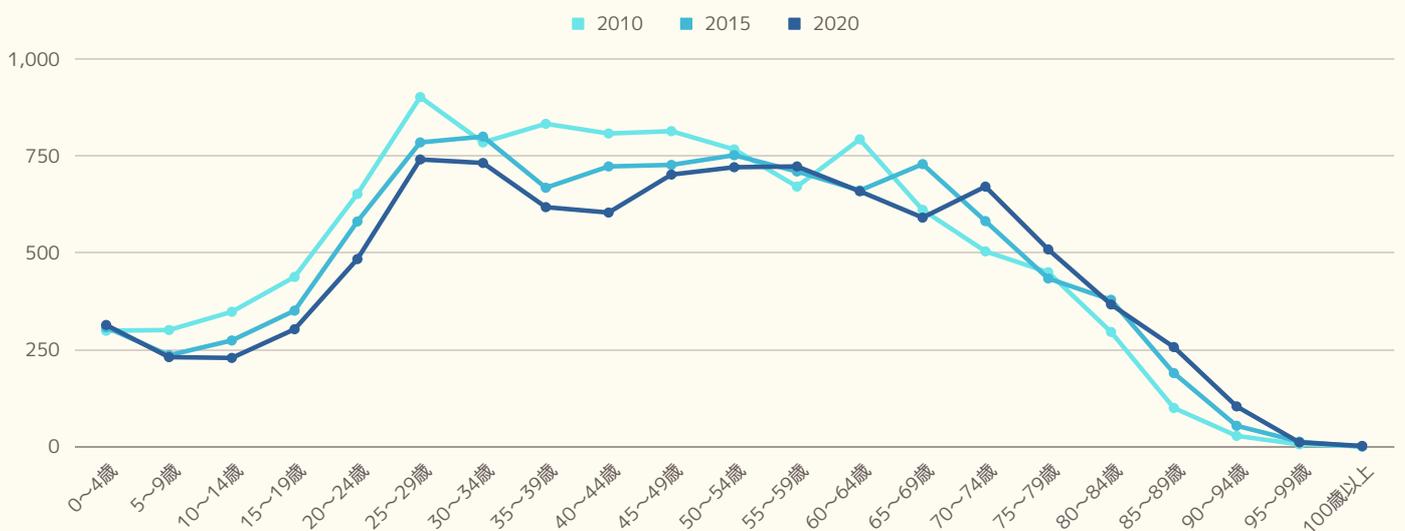
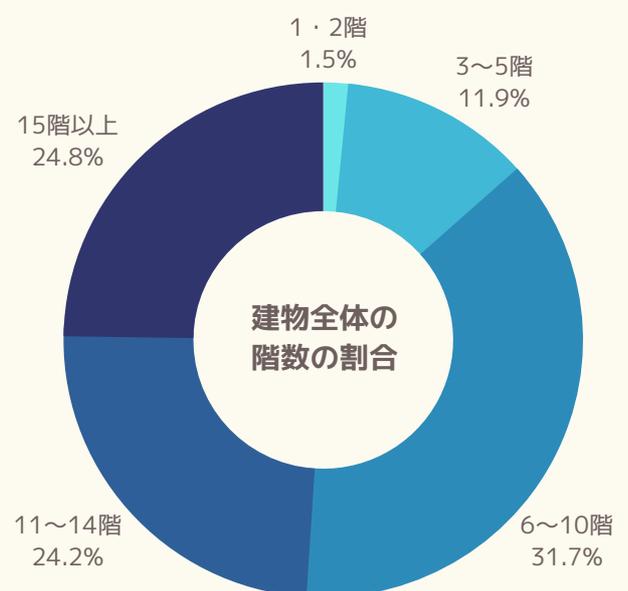
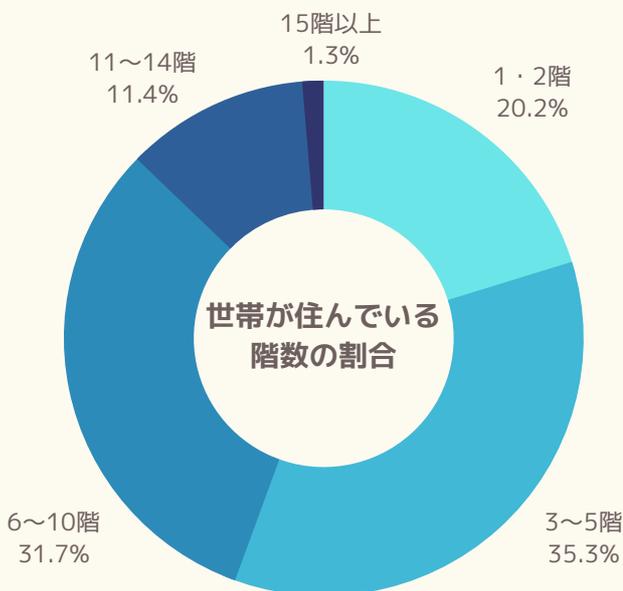
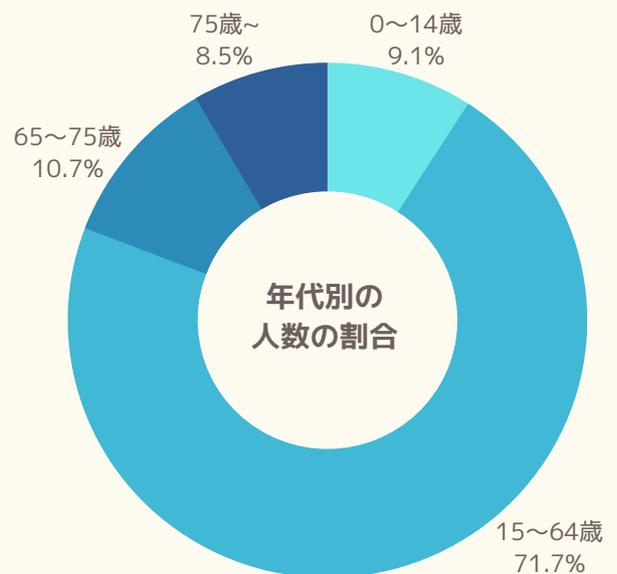
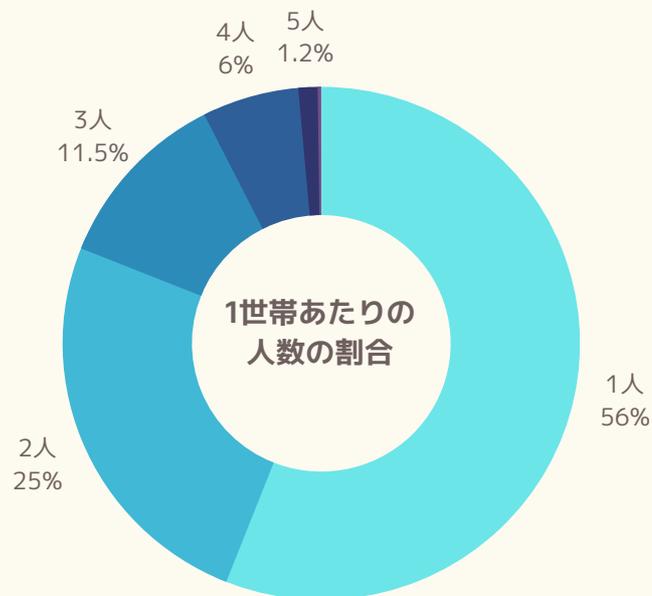


新東三国地域は2000年から人口がわずかながら減少しているにもかかわらず、世帯数は増加していて、1995年から平均世帯人数が2.3人から1.7人となっています。

昼間人口比率は60%台であり、共同住宅比率が高く、単身世帯の多い住宅地です。

出典：淀川区 区の統計, <https://www.city.osaka.lg.jp/yodogawa/page/0000000394.html>

2020年（R2）国勢調査からわかること



1世帯あたりの人数は1人が56%と半数以上の世帯が1人世帯です。75歳以上の人数の割合は8.5%であり2010年から比べると徐々に多くなっています。1・2階に住む世帯は20.2%であり、1・2階の建物は1.5%です。津波水害においては若干ですが自宅以外への避難が必要です。

13. 新東三国地域では、普段こんな団体がさまざまな活動をしています

《新東三国地域活動協議会》

《新東三国社会福祉協議会》

《新東三国連合振興町会》

- 鎌田東振興町会
- 鎌田北振興町会
- 東三国2の東振興町会
- 東三国2の南振興町会
- アーベイン東三国振興町会
- 東三国3の東振興町会
- 東三国3の中振興町会
- 東三国3の西振興町会
- ソシエ北大阪振興町会
- プライムハイツ新大阪振興町会
- ユニライフ北大阪振興町会
- 鎌田東自治会
- 明友町会
- 以和貴町会
- アーベイン東三国町会
- 市営住宅1棟自治会
- 新三国中自治会
- 新三国自治会
- ソシエ北大阪自治会
- プライムハイツ新大阪自治会
- ユニライフ北大阪自治会
- 新東三国連合女性部
- 新東三国青少年指導員会
- 新東三国青少年福祉委員会
- 新東三国地域防災リーダー
- 新東三国地区防犯会
- 新東三国地区民生委員会
- 新東三国保護司会
- 新東三国体育厚生協会
- 新東三国連合子供会
- 新東三国連合友和会
- 大阪市立東三国中学校
- 大阪市立東三国中学校PTA
- 大阪市立新東三国小学校
- 大阪市立新東三国小学校PTA
- 社会福祉法人なみはや福祉会
新東三国保育園
- 社会福祉法人なみはや福祉会
デイサービスセンターなみはや
- 大阪市立新東三国小学校生涯学習ルーム
- 大阪市立新東三国小学校はぐくみネット
- 新東三国食生活改善推進員協議会

14. 新東三国地域の一番大きなフィールドは地域活動協議会です

新東三国地域では、地域に関わる人全てを対象としている新東三国地域活動協議会が平時の地域活動のフィールドであり、防災の取組みにつなげています。

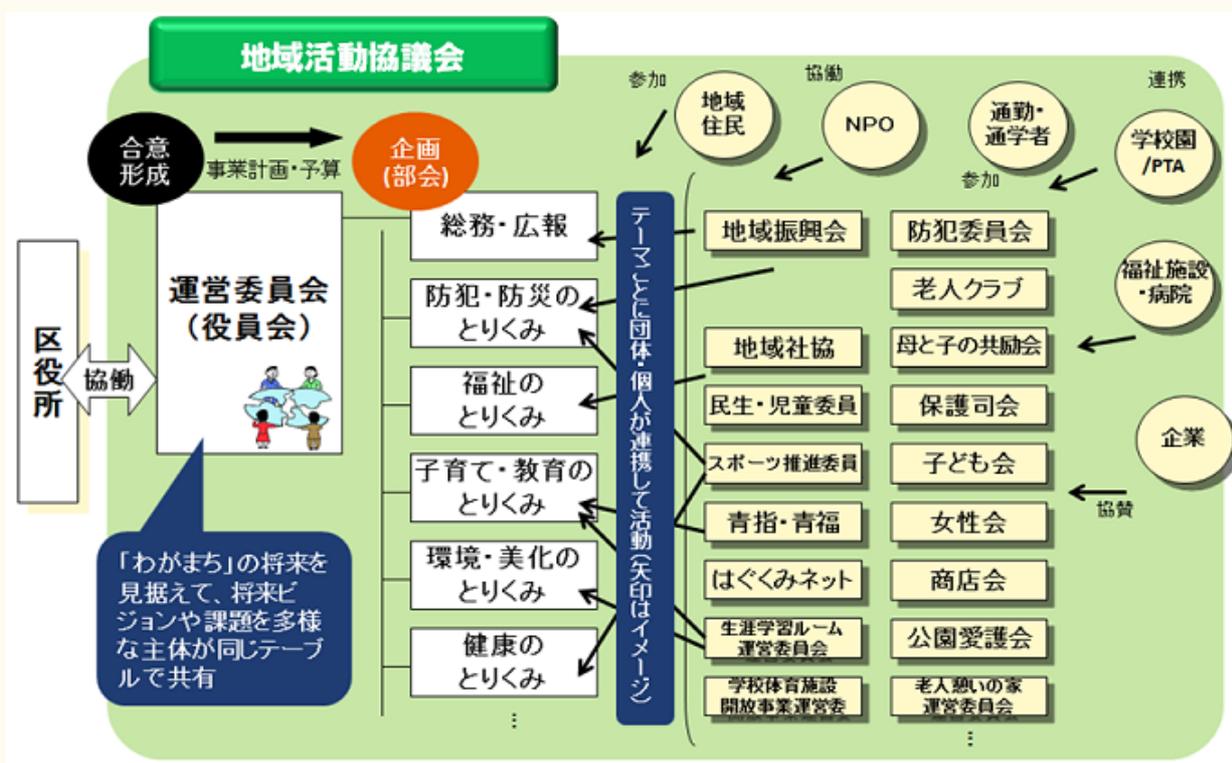
《地域活動協議会とは》

「地域活動協議会」とは、おおむね小学校区を範囲として、地域団体やNPO、企業など地域のまちづくりに関するいろいろな団体が集まり、話し合い、協力しながら、さまざまな分野における地域課題の解決やまちづくりに取り組んでいくための仕組みです。

具体的には、次のような点を備えたさまざまな活動主体の連合組織を、地域活動協議会として位置付けています。

- ア おおむね小学校区域を単位として活動することを基本としていること
- イ 地域住民の組織をはじめ、ボランティア団体、NPO、企業など地域のまちづくりに関するさまざまな活動主体が幅広く参画していること
- ウ 民主的で開かれた組織運営と会計の透明性が確保されていること
- エ 特定の分野ではなく、防犯・防災、子ども・青少年、福祉、健康、環境、文化・スポーツなど広く地域のまちづくり全般を活動対象としていること

- 令和元年7月22日現在、合計326地域において形成されています。
- 新東三国地域活動協議会は平成25年2月に設立し、現在に至っています。
- 他県では、まちづくり協議会と言われる場合もあります。



出典：大阪市、「豊かな地域社会の形成に向けた区政運営基本方針1－（2）－ア 地域活動協議会を核とした自律した地域運営の支援」。

<https://www.city.osaka.lg.jp/shimin/page/0000190407.html>（参照2021-1-20）

15. 新東三国地域における防災の役割 ーいつ・だれが・何をどうするかー

	平時（いつ）	発災直前（いつ）	災害直後（いつ）
住民の役割 だれが	<p>《知識》 災害想定を知る 災害リスクを知る</p> <p>《備える》 室内安全確認 7日間分の備蓄 〔水・食料・日用品〕 非常用持出袋</p> <p>《家族会議ー決定事項》 避難計画の作成 避難経路の確認 災害時の役割分担 災害時の伝達方法</p> <p>（何をどうしておくか）</p>	<p>《情報収集》 気象情報の確認 避難所の確認 避難経路の確認</p> <p>《備えの点検》 自宅周辺の安全点検 備蓄の点検 非常用持出袋の点検</p> <p>《避難判断》 避難場所の決定 避難のタイミング</p> <p>（何をどうするか）</p>	<p>《安全確保》 身の安全の確保 出火防止 初期消火 出口の確保 わが家の安全点検 大丈夫サイン掲示</p> <p>《情報収集》 災害情報の確認</p> <p>《避難行動》 非常用持出袋の準備 避難カードの準備 避難先の表示</p> <p>（何をどうするか）</p>
自主防災組織の役割 だれが	<p>《防災教育》 子ども・青少年向け学習 Jr.リーダーの育成</p> <p>《防災訓練》 訓練の企画・準備 参加の呼びかけ 防災訓練の実施</p> <p>《防災知識の普及啓発》 防災研修・勉強会の実施</p> <p>《防災資機材の確保》 防災資機材の整備・点検</p> <p>《地区防災計画作成》 役割分担の明文化</p> <p>《避難所開設運営準備》 マニュアル作成・更新</p> <p>《地域防災リーダー》 知識・技術の向上 防災知識の普及</p> <p>（何をどうしておくか）</p>	<p>《気象情報収集》 気象情報の確認 地域の安全確認</p> <p>《避難情報収集》 避難情報の確認 避難所の準備</p> <p>《備えの確認》 防災資機材の点検</p> <p>《初動準備》 避難所開設の準備 区役所と連携 各町会と連携 避難情報の周知 近所の声かけ 要配慮者への対応</p> <p>（何をどうするか）</p>	<p>《災害対策本部設置》 避難所の開錠 区本部と情報共有 住民の安否把握 地域被害状況の把握</p> <p>《避難誘導》 近所への呼びかけ 要配慮者への避難支援</p> <p>《消火救出》 消防ポンプ庫開錠 消火救出への対応</p> <p>《救出救助》 けが人の救出救助</p> <p>《避難所の開設》 避難所の安全確認 避難者の受入れ 避難者の把握 負傷者の応急手当 避難所の物資管理 食糧の調理・配給</p> <p>（何をどうするか）</p>

自主防災組織とは

自主防災組織とは、住民の一人ひとりが「自らの命は自らで守る」そして「自分たちの地域は自分たちで守る」という考え方にたって、地域の住民同士が自主的な防災活動を実施する組織のことです。自主防災組織は、地域で活動する様々な団体からなり、地域に居住・勤務する広範囲な人員から構成されます。

出典：「大阪市自主防災活動ガイドラインver1.0.2020年6月」。

<https://www.city.osaka.lg.jp/kikikanrishitsu/cmsfiles/contents/0000035/35308/honpen.pdf>